

平成22年12月（62回）彦機会幹事会の記録

早いもので今年もあと20日足らずになりました。平成22年最後の幹事会を、百貨店戦争で変貌著しい大阪駅前のニュー・トーキョー（第一生命ビル）で開催しました。この後ささやかに懇親忘年会を行った。

- (1) 日時 : 平成22年12月12日(日) 12:00~15:00
(2) 場所 : ニュー・トーキョー(大阪第一生命ビルB2F)
(3) 出席者 : 吉田会長、内片副会長、松下副会長、藤田常任幹事、国領常任幹事、山添常任幹事、藤浪

(4) 議事内容

配布資料:「湖風会」平成22年度 第4回役員会レジュメ

「湖風会」平成22年度 第4回役員会議事録(案)・・・添付

湖風会 工学部同窓会(骨子)・・・添付

USP(滋賀県立大学 人事・採用担当者の皆様へ 2011)

- 1、湖風会第4回役員会の報告について(松下副会長より)・・・添付資料参照
平成22年11月27日に開催された第4回役員会の報告があった。

1)「湖風会」同窓会館 建設事業の再検討と実施決定について

- ① 同窓会館建設の目的・意義としては、以下を考えている。

同窓会と大学の交流による学生支援の充実のため同窓会活動の拠点の設置

- ・現役学生と卒業生との交流を活用した就職支援
- ・同窓会会員企業(短大を含む)によるインターシップの充実
- ・後援会と連携した課外活動の支援充実
- ・ホームカミングデーや研究室開放など様々な産学交流を通じて、県大支援最大組織機能の充実を目指す

- ② 大学が建築予定の国際教育学科の学舎に「合築」と「単独棟建築」の案が出ていたが、「単独棟建築」は、大学側からは同窓会館建設に関する助成が行えなくなったことや、固定資産の保有区分のため大学敷地内の設置は認められず、他所に土地を確保しなければならないことから、資金面・管理面から実現性がなくなった。

- ③ 大学側提示の合築による『同窓交流会館』整備案は、

・建築面積 138m² (会議室 80.5m²、事務室 20.2m²、WC等共用部 8.5m²)

・建設費分担分 34,500千円(空調等一般設備含む)

什器・備品等 5,000千円

合計 40,000千円

・維持管理費(湖風会負担分) 500千円/年=40千円/月

- ④ 資金調達は湖風会保有の預金50,000千円の使用と、寄付金の獲得に努力するとして起債による借入は行わない。

- ⑤ 完成後は大学に寄贈し、会館部分施設は湖風会が無償使用を受ける形となる。

- ⑥ 役員会への委任事項として、臨時総会にて報告承認を受けたいとのこと。

- ⑦ 国際教育学科の開設は平成24年の予定。

建築に向かって話が進んでいるが、彦根駅近辺で賃貸する案とか、必要性・活用頻度等の検討が充分なされたのか疑問に感ずる等の意見があった。

2) 就職支援について

彦機会の会社訪問が縁となり京都製作所への就職が内定した事例を松下副会長から紹介し、彦機会活動のPRを行った。

2、杉本常任幹事の近況について

山添常任幹事が12月3日に杉本さんの見舞いに行ってくれました。山添さんの印象では思っていた以上に回復が早く、杖なしでも歩けるようになっていました。右手の回復は、まだ時間がかかりそうですが、言葉は、日常生活にはほとんど支障ないなど早く回復されていました。12月12日に退院され、週に一回奈良県総合リハビリテーションセンターに通院され、あとは近くの施設で週に一回程リハビリを続けられるとのことだそうです。車に早く乗れるように頑張りたいと話されていたとのことでした。

3、新規幹事候補の勧誘について

11月18日、吉田会長が、立入副会長がパーティーで知り合ったタカタに勤務されている水野さんに会いにタカタ（愛知川）を訪問した。吉田会長より3級後輩（S-54?）で水野さん以外にも何名かOBが在籍されている。一番忙しい年代で今すぐに活動参画には色よい返事はもらえなかったが、コンタクトは続けていきたい。来年の総会には出席を勧誘する。長浜の小池さんにも立入さんと強かにアプローチしている。

4、工学部同窓会設立について（国領常任幹事より）…添付資料参照

- ・彦機会（内片・山添・松下・国領・（杉本））及び化学科の湖気会（坪井・林・長谷・篠田）で設立準備チームを結成し、会合をもった。
- ・発展的に解消した彦根工業会及び、彦機会・湖気会・県大工学部同窓会の受け皿として、
 - 1) 大学工学部との連携
 - 2) 就職活動支援
 - 3) 同好会の支援
 - 4) 地域との連携 を図っていききたいと考えている。
- ・現状設立準備チームに県大（工学部）のメンバーが入っていないが、現役の学生では難しいので、卒業生で地元に残り、自営等でこういった活動に協力いただけそうな方を探さなければ仕様が無いと言うことで、卒業生の名簿から彦根又は、滋賀県近辺で適当な候補者を探すこととした。
- ・スタートは、彦機会と湖気会を中心に、出来れば県大の卒業生にも参加してもらって始めていきたい。
- ・湖風会とのすり合わせは、現状湖風会は活動の実態があまり無いと見ているので、適時タイミングを見計らって行っていくこととする。
- ・活動のやり方・進め方は彦機会です12年間やってきた方法を基本的には踏襲し、学年幹事を化学科にも設定してもらいそれを核として活動の輪を広げていきたい。
- ・ホームページについては、彦機会は永年の情報資産の蓄積がある。工学部同窓会が出来たからといって、湖風会に引き継いでしまうと消滅してしまう可能性もある。このことに関しては、今までご苦労をお掛けしてきた山添常任幹事の協力をお願いしたい。
- ・発足のタイミングとしては、来年の彦機会の総会をうまく活用していくことを考えたい。
- ・今までは昭和30年代の卒業生が活動の中心になってきたが、40年代の卒業生がリタイアしてきて活動が出来るようになってきている。引き継いでいきたい。
- ・田頭顧問には来阪された折をとらえて、報告し、了解並びにご助言を頂きたいと考えている。又、杉本常任幹事には、メールまたは書面で報告する。

尚、帰りに田頭顧問丹精のみかん・レモンの御裾分けをいただきました。ありがとうございました。

以上。

<幹事会後の懇親忘年会>



次回幹事会 日時： 平成23年2月13日（日）10:00～
場所： パナソニックリゾート大阪

「湖風会」平成22年度 第4回 役員会議事録(案)

日時：平成22年11月27日(土) 13:00~17:00

場所：彦根勤労福祉会館 第2会議室

出席者(敬称略)役員：種橋・平田・岡田・中川・小林・篠田・伊藤・藤本・松下欣・藤澤

松下恭・大森・日置・道明・安寺・横田・五坪

記録係：事務局 / 竹内

定足数確認 役員総数 27名 出席 17名 委任状 7名 計 24名

配布資料 ・H.22年度第4回役員会資料
・(仮称) 国際教育・同窓交流会館 整備(試案)
議長：中川氏(湖畔の会)

【議題】

○ 報告事項

1. H.22年度 第3回役員会 9月25日 議事録の確認 承認

○ 審議事項

1. 「湖風会」同窓会館 建設事業の再検討と実施決定について

1)・1. 現在までの状況

- 滋賀県立大学から、湖風会が将来 同窓会館的施設の建設を行ないたいとの計画に対して「合築」または「単独棟建築」の何れかとする 同窓会側としての要望、意見を 9/25 役員会としての『単独棟建設』としたいとの意向を 10/7 大学側へ回答した。
- 同時に 『単独棟建設』の場合の条件、制約等について意見交換、確認を行ったが、種々の問題点があることが判った。

1)・2. 当件に関する今後の湖風会としての対応について

「湖風会」は同窓会組織として本部・事務局等、専用施設[同窓会館的施設]の設置は、その活動拠点として何時かは必要であると過去から検討してきたが、今回の機会に大学の国際教育学科との「合築」で、その実現を前向きに推進したいと考えている。
今回の役員会に於いて、次の問題点を提示して大学関係者と話し合い、同窓会館 検討委員会で検討していきたいとの結論となった。

- ① 会館の名称について 公式の文書・地図等に「湖風会館」の名前は、入るのか
- ② 会議室は、同窓会が優先的に使用できるのか
- ③ 事務室の隣に応接室の作成は、可能か
- ④ 会議室の大きさ、可動間仕切りの設置についての再考
- ⑤ メンテナンスの費用について
- ⑥ 什器・備品の所有権・使用权について
- ⑦ 自習室等、他の施設が空いている時は、使用できるのか

1)・3. 現在の大学側提示の合築計画による 『同窓交流会館』 整備案による建設実施について

- ・ 建設施工予算 建築面積 138㎡ 250千円/㎡ = 34,500千円 (一般設備費込)
当方負担にて建設完成後、大学へ「寄贈」し、会館部分施設は改めて 湖風会が無償使用を受ける形式となる 但し、維持管理費は応分の負担を行う

- ・ 会館完成後の「維持管理費」 = 電気使用料が主体、警備管理費 他 の分担が発生
[学科棟全体 3,000 千円/年] → 湖風会負担は 500 千円/年 = 40 千円/月
* 面積比率による費用分担
- ・ 建設費、以外の備品等の購入費は一時費用として必要 概算 3 ~ 5,000 千円

1) - 4. 建設関係費用、資金調達 など

| | | | |
|-----------------------------------|-----------|----|-------------|
| 1. 建設費分担 (空調等、一般設備含む) | 34,500 千円 | | |
| 2. 什器・備品 事務用机 備品、 会議室 机・椅子 その他の設備 | | | |
| | 概算 一式 | | 5,000 千円 |
| | | 合計 | 約 40,000 千円 |

3. 資金調達について

- ◇ 「湖風会」 保有の固定預金は、概算 5,000 万円があるため、これを活用し同窓会館建設費の運用資金としての使用を行いたい
- ◇ 建設資金は、当面「湖風会」保有の固定預金を充当し、同窓生、関係協賛企業からの「寄付金」獲得に努力し、併せて各年度一般予算の中から余剰金を年度ごとの分割方式にて保有資金への還元返済を行いたい
然しながら現況下では協賛「寄付金」の獲得は困難であるとの見通しであるため、合築方式にて建築予算規模を極力縮小し、「起債」による借入等は行うべきではないと考える

1) - 5. 同窓会館 建設資金拠出の実行についての役員会の承認

役員会への委任事項として施行し、 臨時総会にて報告承認を受けたい。

2. 事業支援委員会関係の活動について

就職活動の支援体制について

就職支援には、名簿整備が重要課題であるが、どのように就職活動に繋げていくか検討する必要がある。

大学 就職支援グループ統括から、彦機会の会社訪問の成果について連絡があり、今後の「湖風会」としての OB・OG 会社訪問等に繋げていきたい考えられる。

3. その他

- ◇本部の事務局長を決定し、大学側と対等の立場で連携していきたい。
- ◇委員会活動を活発化し、役員会の開催頻度の検討をした方がいいのではないかとこの意見が出る。
- ◇HP 掲載のため、クラス会開催時・委員会情報などの提供をお願いします。

次回 : 〔同窓会館〕 建設計画検討委員会協議会

平成 22 年 12 月 18 日(土) 10:00~12:00 大学サテライト・プラザ彦根

以上

1-2-3 人と車のアクセス

自動車でアクセスする場合、湖岸道路から外周道路を経て、原則として北及び南の2箇所を整備されている駐車場に駐車し、駐車場から徒歩で本施設にアクセスする。ただし、教員、来訪者、身障者及び、同窓会関係者は入校許可を得て大学敷地に入り、新設される国際コミュニケーション学科棟駐車場を使用する。

バスでアクセスする場合、大学敷地と北端と南端にあるバス停より、徒歩で本施設にアクセスする。

- 歩行者動線
- 自動車動線
- 自動車動線
(※入校許可を得た場合)

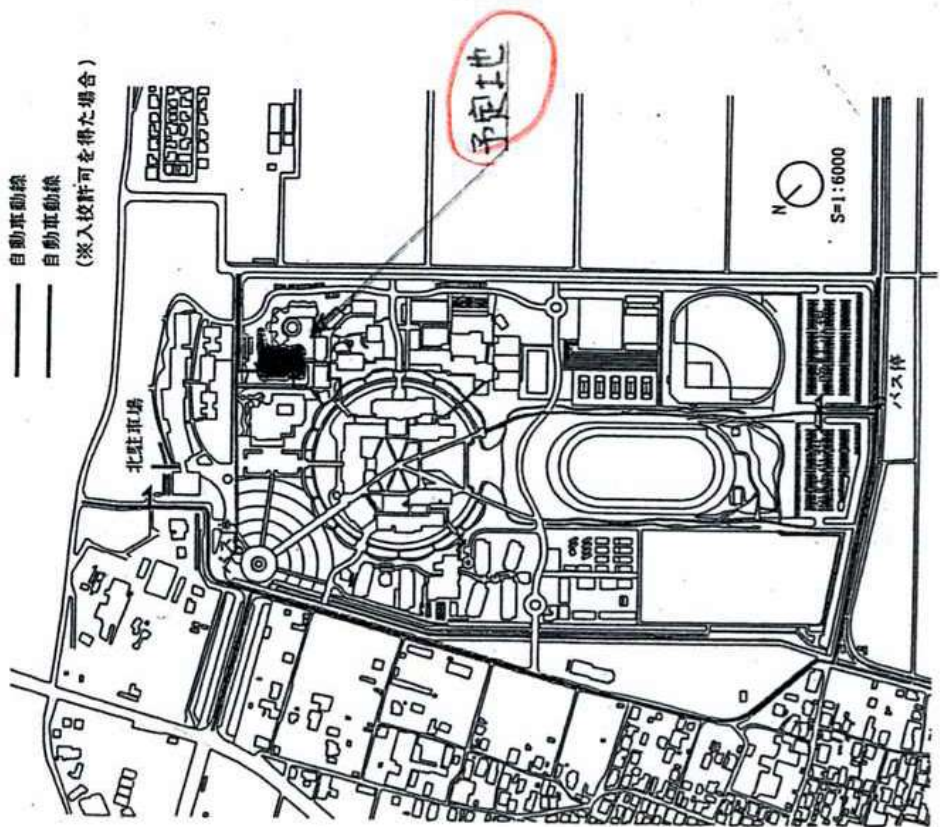


図 1-2 岩手県立大学 敷地内動線図

1-2-4 敷地形状及び敷地面積

敷地は、人間文化学部棟および通路に囲まれた長方形に近い形状をしている。現在は、やや起伏のある芝生の広場になっている。

敷地面積は、滋賀県立大学全体で約 296,400 m²である。敷地面積は、実施設計において外部委託によって行うものとする。

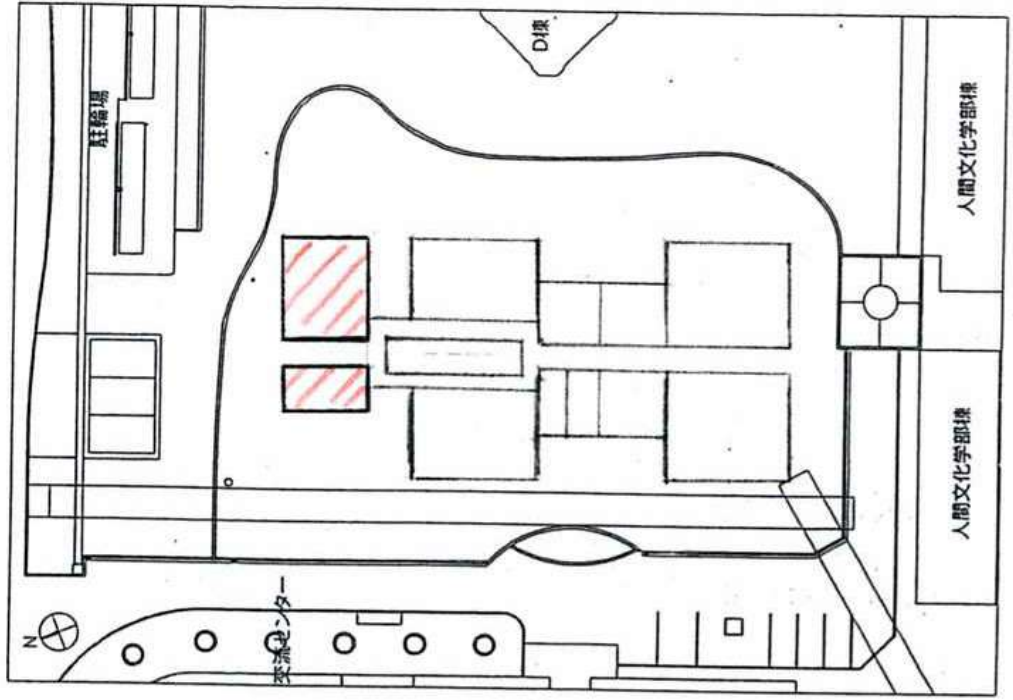


図 1-3 対象敷地図

(仮称)国際教育・同窓交流会館 整備試案

H.22年11月

山口県立大学本部からの

提供試案

別資料-2

[湖風会]

同窓会専用使用部分

県立大学

新学科棟部分



建築平面配置図
平屋建(1階)

* WC等共用部分
(全面積 48m²)

大学新学科棟
新棟 720m²

* 全建築面積合計 850 m²

(施工単価 250千円/m² (空調等設備込))
(建設施工費 212,500千円)

* WC等共用部
(48-8.5) = 39.5m²
を含む

概算 34,500千円

台科棟

83.8%

「湖風会」負担施工費

同窓会

16.2%

全体面積比率